

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【尾道市立因島南中学校】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	2年生 男女 76名
3 展開の形式	(○) 教科で実施 教科名 (保健体育科) () 教科以外で実施 ()
4 目標（ねらい）	保健体育科における陸上競技（長距離走）に対する興味・関心の向上と運動部活動（冬季体力づくり：放課後一斉10分間走、地元駅伝大会への参加）の活性化のため
5 取組内容	元オリンピック女子マラソン選手を招き、講演を聞く。中学・高校時代からオリンピックに出場するまでの日常生活や陸上部の練習内容を聞くことによって、より高い目標をもつことの大切さを学ぶことができた。
6 主な成果	11月から始めた冬季体力づくり（放課後一斉10分間走）に対する姿勢が意欲的になり、全部活動が参加する地元駅伝大会へ向けて、全力で取り組むことができた。また、12月からは保健体育の授業における「長距離走」において、各生徒が自分の目標タイムを設定し、記録向上を目指して意欲的に取り組む姿が見られるようになった。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	これから部活動を含め、学校全体を引っ張っていく2年生に講演を聞かせ、意識を変えるように試みたこと。
8 主な課題等	講義だけでなく、走るフォームやトレーニング内容等の実技指導を含めた内容であれば、より効果的であったと感じている。
9 来年度以降の実践予定	保健体育の授業において、平昌オリンピックを取り上げる等、東京オリンピック・パラリンピックへの機運を醸成する。